

# オアシス通信



関西聖書学院の五〇周年記念式典のために来日されたフィンランドとノルウェーからのゲストが相次いで岐阜純福音教会を訪れ、御言葉を取次ぐ奉仕をしてくださいました。十月二十日(木)朝には、女性会主催の特別集会(写真①)にフィンランド海外宣教師代表のハリー・ハツコラ師とオライカイン宣教師が来てくださいました。ハツコラ師は「喜び」をテーマに、喜びは永遠の命を手に入れるとき、大切な失われたものを見つけないときに与えられることを中心に語られました。人生を変えられた貧しい国々の六人の実話が印象的でした。

## 主の愛を語り継ぐ

### 北欧から相次ぎゲスト



## 仙台でボランティア

10月20~23日クラッシュジャン(クリスチャンのボランティア団体)に参加し東日本大震災の被災地でボランティア活動を行いました。国籍も教会も違う8人がチームになり、研修を受けてから仙台付近の仮設住宅を訪問。アメリカから届いたキルトとトラクトを渡し、敷地内にカフェを開きハン

二十三日の礼拝では、ノルウェー海外宣教師代表のピヨン・ピヨルノ師(写真②)が「両極端における宣教」をテーマに語ってくださいました。



ドマッサージュをしながら被災された方の話をうかがいました。多くの方が地震時は着の身着のまま逃げ、家や仕事など大切なものを失っておられました。被災者であり現在ボランティアスタッフとして働いている方によると『話を聴く』という活動は今後さらに重要になります。引き続きボランティアによる継続的な活動が必要だと強く感じました。(山本秋子)

を打ちながら老若男女楽しく交わりの時を持ちました。



十月十六日(日)の礼拝後に、久しぶりに教会駐車場でバーベキュー親睦会を持ちました。大垣インターナショナル・フルゴスベル・チャール・チャールも合同で参加し、ブラジル風のソーセージがたくさん差し入れられました。肉に、野菜に、ソーセージに舌鼓

### 真剣に防災訓練

十月三十日の礼拝後に厨房から出火という想定で、避難訓練が行われました。当日は雨天のため非常階段を使わず、通常の階段を利用して避難しました。避難は速やかに行なわれ、一階集会室に集合し、講師の野村兄から消火器の使い方、避難時に気を付けることや地震への備えについて話を聞きました。東海地震などに備えるとともに震災が起らないように、被害が少なくなるように祈ることを話されました。お聞きした内容を生かして普段から備えていきましょう。

### 親睦バーベキュー

十月十六日(日)の礼拝後に、久しぶりに教会駐車場でバーベキュー親睦会を持ちました。大垣